

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number. 06186702 A

(43) Date of publication of application. 08.07.94

(51) Int. CI G03C 7/34

G03C 1/14 G03C 1/83 G03C 7/392

(21) Application number: 04338605

(22) Date of filing: 18.12.92

(71) Applicant. KONICA CORP

(72) Inventor: FUJIWARA HIROKO

HIRABAYASHI SHIGETO

(54) SILVER HALIDE COLOR REVERSAL PHOTOGRAPHIC SENSITIVE MATERIAL

(57) Abstract.

PURPOSE: To obtain the silver halide color reversal photographic sensitive material high in sharpness and sensitivity and maximum density by incorporating a silver sait of a dye in one of photographic constituent layers and a specified cyan coupler in one of those.

CONSTITUTION: This color reversal photographic sensitive material has the photographic constituent layers including red-, green, and blue-sensitive silver holide mulsion leyers on a substrate, an at least one of the constituent layers contains at least one kind of the silver sait of the dye and at least one of the constituent layers contains at least one of the constituent layers contains at least one of the reconstituent layers contains at least one of the constituent layers contains at least one of the constituent layers contains at least one of the constituent layers contained have a least one of the cyan constituent layers and least one of the cyan constituent layers and least one of the cyan contained layers and least one silver complex formed by reaction of the dye with the silver ions and the dye is an organic compound having absorption in the visible spectrum.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

「特許議求の範囲!

「請求簿1 」 支持体上に青感性ハロゲン化銀乳剤腸、 緑核性ハロゲン化銀別部隊 および赤核性ハロゲン化銀 楽部脳を含む写真構成脳を有するハロゲン化御カラー反 転写真感光材料において、前記写真構成籐の少なくとも 一層に、染料の鋼塩の少なくとも一種を含有し、かつ前 配写真構成層の少なくとも一層に下記一般式 [C-1] で表されるシアンカプラーの少なくとも一種を含有する ことを特徴とするハロゲン化銀カラー反転写真感光材 料、

[ft1]

[式中 日。およびR、は終々アルキル基。アリール級。 アラル中ル基。アミノ基を表し、これらはさらに凝換基 化体との反応により解脱しろる基を表す。〕

【発明の詳細な説明】

[0001]

【摩業上の利用分野】本発明はハロゲン化銀カラー反転 双直感を材料に関し、さらに詳しくは、解稿性が高く。 高感度で最高濃度の高いハロゲン化銀カラー反転写意感 光材料に関する。

[00002]

「従来の技術」従来、ハロゲン化銀カラー写真機光材料 防止層やフィルター僧のような着色層を設けることはよ く知られている。このような着色撥は多くの場合水溶性 染料を含んでいるが、これら公知の染料は写真化学的に は完全に不活性でないことが多く。寒塵材料の感光性器 にしばしば有害な影響、すなわち感度および最高認度の 低下をもたらした。

[0003]また、当業界においては、近年益々高値質 のハロゲン化銀カラー反転写真感光材料が望まれている* 米が、特に、ハロゲン化銀カラー戸航写真標実材料の商 質、特に解鎖性の低いてとが問題となっている。

「0004!そこで、水流性染料を必量に含有させると とにより画像の解験性の改良を試みたが、本発明省らの 実験によると乳剤膜の感度低下が著しく、最高濃度の低 下が大きく、生保存性が劣化し、さらに関係の鮮辣性の 改良効果も小さいことが明らかなった。

[0005]

1000081

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明の目的 10 は、鮮純性が高く、高感度で最高速度の高いハロゲン化 銀カラー反転写真感光材料を提供することにある。

【課題を解決するための手段】本発明の上記目的は、下 紹いロゲン化組カラー母転駕森機光料料によって達成さ nt.

【0007】支持体上に資感性ハロゲン化銀乳剂順、緑 総性ハロゲン化銀乳剤腫、および赤感性ハロゲン化銀乳 削縮を含む寒寒様成態を育するハロゲン化銀カラー度転 写真感光材料において、前記写真構成階の少なくとも… を有するものも含む。Xは水素原子または現像主薬の酸 20 層に、染料の銀塩の少なくとも一種を含育し、かつ前記 写真構成際の少なくとも一器に前記一級式 | C-1 |

『仕上』で表されるシアンカブラーの少なくとも一般を 含有することを特徴とするハロゲン化銀カラー度転算以 融光材料。

[0008] 以下本発明について評述する。

【0009】まず、本発明の染料の銀塩について説明す

【0010】本発明において 染料の銀塩とは染料と銀 イオンとの反応により形成される錯塚および揺締体を表 において、測像鮮緑性を向上させるためにハレーション 30 し、染料とは可視スペクトル (380~700mm) に敷収を有 する容様化会物を寄す。

> 【0011】以下に本発明において用いられる染料の銀 題を形成しらるがましい染料について説明するが 木拳 期はこれらに認定されるものではない。

[0012]上紀線料としては下記一般式[1]~ (V)で考される染料を挙げることができる。

[0013]

一般式[1]

$$S = \underbrace{\sum_{k=1}^{R^1} \underbrace{\sum_{l=1}^{L_1 - L_2} \underbrace{\sum_{l=1}^{R^1} \underbrace{L_3 - (L_4 = L_8)}_{n_2}}_{R}}_{R}$$

[0014] (式中、R1, R1は水器膜子、アルキル 甚 アルケニル柱 アリール基 物素関基を表し X. X.は勧告原子、硫蓄原子を表す、L.へL.はメチ ン基を表し、n, n,は0~2の影動を表す。またE、

は酸性の核を有する様を表す。) 100151

(fk.3.1